

3 指導体制の充実（担任中心の授業と 効果的なチーム・ティーチング）

Let's give it a try!	解答例
<p>1. 英語授業をチーム・ティーチングで行う指導者それぞれの特性を示しなさい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ HRT—小学校の教育課程や児童の理解、児童との人間関係。 ・ JTE や ALT など—英語使用の必然性・動機付けが可能。発音のモデルの提示、文化的背景を生かした活動が可能。
<p>2. 「外国語の背景にある文化に対する理解を深める」指導を行う際、チーム・ティーチングで行う場合と学級担任の教師が単独で行う場合では、どのような違いが考えられるか、授業の準備、内容、評価のそれぞれの場面について述べなさい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ チーム・ティーチングで指導を行う場合は、ALT などの持つ文化背景を最大限に生かし、ALT の国や地域についての内容を視覚的な資料も交え HRT と ALT とのやり取りを通して紹介することができる。また、ALT から見た日本の文化や伝統についても意見を交換することができる。 ・ HRT 単独で行う場合は、題材に関係する国や地域、児童の興味関心の高い国や地域を取り上げ、視覚的な資料を充実させ指導にあたることが大切である。 ・ 評価においては、扱われた内容の理解度合に加え、他の様々な国や地域が持つ文化への興味・関心に発展するように働きかけたい。
<p>3. チーム・ティーチングの準備を効率的に行う工夫を考え、示しなさい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校務は多忙であり十分な準備時間が取りにくいことが予想される。そこで、学年や学校全体で授業の枠組みを大まかに統一し、HRT, JTE, ALT が授業の流れを把握しやすくしたり、教材教具の準備分担を行ったりするなどの工夫が必要である。